

2024年4月25日

株式会社 千葉銀行

## 合資会社寒菊銘醸向け「ちばぎんSDGsリーダーズローン」の取組みについて

千葉銀行(頭取 米本 努)は、合資会社寒菊銘醸(代表取締役 佐瀬 建一、本社:千葉県山武市)に対して、「ちばぎんSDGsリーダーズローン(サステナビリティ・リンク・ローン型)」を取り組みましたのでお知らせします。

「ちばぎんSDGsリーダーズローン」は、サステナビリティ経営を積極的に実践しようとする事業者さまが、事業規模や経営実態に合わせて有効な目標等を設定する融資制度です。

貸出先の合資会社寒菊銘醸は、本社及び酒蔵を山武市に構える1883年創業の酒類製造業者です。日本酒を中心に製造し、地元産を含む良質な酒造好適米や長年培ってきたノウハウ、経験豊富な職人の技術力などを活かして作られた商品は高い品質を誇り、「総乃寒菊」や「松尾自慢」などの銘柄でブランドを確立しています。また、クラフトビール「KUJUKURI OCEAN」の製造にも力を入れており、日本酒も含め国内外で販路を拡大させています。『飲む方々の「心を満たす」酒造り』の理念のもと、質の高い酒類の提供を通じて、人々の豊かな食生活の実現に貢献しているほか、空調やボイラーの高効率化、照明のLED化など環境負荷の低減に努めています。

今回、SDGs達成の取組みとして、自社の事業活動における売上高1億円当たりの二酸化炭素排出量の削減目標を策定しました。目標達成時には当行が金利を優遇することで、お客さまの目標達成に向けた動機付けを行い、お客さまのサステナビリティ経営を後押しします。

当行は今後もグループ一体となって、サステナブル・ファイナンスを提供することで、お客さまや地域社会のパートナーとして、社会・環境問題の解決に資する取組みを一層推進し、持続可能な地域社会の実現に貢献してまいります。

### 【案件概要】

貸出先	合資会社寒菊銘醸	資金使途	運転資金・設備資金
契約締結月	2024年3月	融資金額	100百万円
融資形態	証書貸付	第三者評価機関	株式会社ちばぎん総合研究所

### 【本件のSPTs<sup>※1</sup>について】

設定内容	目標内容
売上高1億円当たりの二酸化炭素排出量の削減率	2030年度までに2023年度 <sup>※2</sup> 比▲18.9% (各年度のSPTは下表の通り)

2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度
▲2.7%	▲5.4%	▲8.1%	▲10.8%	▲13.5%	▲16.2%	▲18.9%

※1 SDGs・ESG戦略における事業挑戦目標(サステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット)

※2 2023年度(2022年2月~2023年1月)の売上高1億円当たりの二酸化炭素排出量実績56,5697(t-CO2/億円)

以上